

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	光環境デザイン小委員会	主 査 名：中村芳樹 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：加藤信介 主 査 名：岩田利枝
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・光環境デザイン領域での知識の体系化のためのシンポジウムの開催 ・設計、環境の技術者のコラボレーションを進める枠組み作り ・環境工学の知見を設計に利用できるような情報発信 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有り 石井大五(フューチャースケープ建築設計事務所)、井上容子(奈良女子大)、岩田利枝(東海大)、遠藤 和広((有)イオス設備工房)、内田伸(石川高専)、小泉隆(九州産業大学)、佐藤勉(佐藤勉設計事務所)、中村芳樹(東京工業大学)、野澤壽江((株)近田玲子デザイン事務所)、鈴木 広隆(大阪市立大学)、松下 進(松下進建築・照明設計室)、三木 保弘(国土交通省国土技術政策総合研究所)、吉澤 望(東京理科大学)、東海林弘靖(有)ライトデザイン)	
設置 WG (WG 名：目的)	光環境デザイン・出版検討 WG：これまでのシンポジウムで収集された内容を再度検討し、出版にいたるための準備を行う。 光環境デザイン・シンポジウム WG：これまでの知見で不十分な点を調査し、そのような点を補充する知識を得るため、建築家、光環境調査報告などを交えたシンポジウムを開催する。	
2006 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 5 回光環境デザインシンポジウム「原広司が語る光と建築」 <div style="text-align: right;">参加者数 103 名</div> (資料) 第 5 回光環境デザインシンポジウム「原広司が語る光と建築」
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 多くの参加者を集めてシンポジウムが実行でき、予定を達成できた。 2. シンポを通じてコラボレーションの機会を作ることができた。 3. シンポジウムによって情報発信を行い、関連資料を建築雑誌に掲載したことから、十分達成できた。
委員会活動の問題点・課題	1. 活発な委員を追加したほうがよい。 2. 基本的にはメールによって話し合いを進めているので、委員会の開催日数がやや少ない。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

2006 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A (B) C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>当初予定していた 100 人規模のシンポジウムを予定通り行え、情報の共有化と発信を行えた。また、シンポジウムの成果の概要を、建築雑誌に掲載することができた。これらを考えると、成果は十分達成できたと考えられる。ただ、出版の可能性についてはまだ十分論議ができておらず、その点から達成率 80%とした。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。